

みやぎのだより

No. 100

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年10月2日



青年部視察研修会

CONTENTS

第15回乳用牛ベビーショー開催	1	飼料情勢	7
青年部視察研修会の開催	2	牛群検定～優良事例紹介～Vol. 7	8
青年部・婦人部平成29年度通常総会開催	3	平成29年度 生乳生産実績	9
酪農フレンズパーティー開催告知	3	理事会通信	9
第46回全国酪農青年女性酪農発表大会開催	4	業務報告	10
仙台市ガス局共催料理教室開催される	4	人事のお知らせ	11
酪農技術シリーズ⑦		編集後記	11
『“強化”哺育』とは？	5		

第15回乳用牛ベビーショー開催

指導課

美里町のみやぎ総合家畜市場において、8月18日(金)第15回乳用牛ベビーショーを開催しました。今年度も全農と宮城酪農が参加しました。

審査員には(一社)家畜改良事業団盛岡種牛センター林田 光氏を迎え、第1部から第5部に区分し、総頭数38頭で審査が行われました。



入賞者は以下のとおりです。

第15回 乳用牛ベビーショー成績一覧

区分	最優秀賞	優秀賞	優良賞	グランドチャンピオン
第1部	ウツディランド オークリーフ スパークリング グッチ 渡辺ひより (宮城酪農)	エイトロール GC ドアマン ピアレス 千葉 義文 (JA加美よつば)	YNS ゴールド ターハム 千葉 義文(JA加美よつば)	YNS プロカウ エース 千葉 義文 (JA加美よつば)
			ビーチフィールド メリディアン シンキングブルツク 濱田 賢志(大崎支部)	
			ローズファミリー ルーレット アラー 熊谷 耕一(栗原支部)	
第2部	イチジョウファーム HC オーソン 一條 薫 (宮城酪農)	ミヤノウ スピカ エアリフト ミスズ ミラクル 宮城県農業高等学校	ゼルコバ ソロモン サマー (株ゼルコバドリーム(仙南支部))	
			ゼルコバ ゲイン フォーチュン (株ゼルコバドリーム(仙南支部))	
			スペシャル スモーキン コデイ 伊藤 紀彦(栗原支部)	
第3部	エイトロール プロカウ ナナミーナ 八巻 誠 (大崎支部)	アイスヴィレツジ オーソン シヤーカー 有)小山牧場 (栗原支部)	ビーチフィールド ドリームウイーパー チャンピオン 濱田 賢志(大崎支部)	
			リバースマウンテン アルタベリング タイム 小峯 真喜(仙南支部)	
第4部	エイトロール プロカウ セルリアン 八巻 誠 (大崎支部)	インサイドベイダース センセーション 内海 一善 (宮城酪農)	フィールドヴィレツジ サニー ジュエル シド 野村 泰仁(大崎支部)	
第5部	YNS プロカウ エース 千葉 義文 (JA加美よつば)	MHファーム ロイ アトリーズ 早坂 睦 (JA加美よつば)	リトルアイランド マツカチエン ルージユ 小島 一也(仙南支部)	
			アイスヴィレツジ サンチエス ウイニー 有)小山牧場(栗原支部)	
			スイートファーム RS コスモスター ET 鈴木 貴博(登米支部)	

青年部視察研修会の開催

指導課

青年部は8月28日に、蔵王町の(一財)蔵王酪農センターの新牧場、【蔵王デーリィパイオニアセンター】の視察を32名の部員が参加のもとに行われました。

蔵王デーリィパイオニアセンターは、畜産クラスター事業を活用し搾乳牛舎・哺育育成牛舎・堆肥舎の建設を行い、今年5月に完成し6月上旬には牛の移動を終え事業を開始しました。搾乳牛舎には搾乳ロボット・餌寄せロボットなど最新の設備が備わっており参加した部員は、酪農センター菅井常務・大和牧場長の説明を熱心に聞き入っていました。また、敷地内には組合員の預託牛を管理している【蔵王キャトルセンター】もあり、併せて視察させていただきました。参加者の中には自分の牛を預けている方もいて、育成牛の管理についても詳しく質問するなど有意義な視察研修会となりました。



当日は酪農ガールズも視察に訪れており、視察終了後には一緒にBBQを行い、日頃の疲れを癒しながら部員同士の交流を深めることが出来ました。



青年部・婦人部平成29年度通常総会開催

指導課

8月9日(水)松島町「ホテル松島大観荘」において、みやぎの酪農協青年部及び婦人部の平成29年度通常総会を開催しました。

総会は、各支部から2名ずつの代議員によって、各執行部から提案された平成28年度事業報告と平成29年度事業計画案が協議され、いずれも原案通り承認可決されました。

今年は役員改選年で、青年部長に大崎支部の野村 泰仁氏(留任)、婦人部長に仙南支部の佐藤 ひろ子氏(新任:前副部長)が選出されました。

昼食を兼ねた交流会は、青年部、婦人部とも同一会場で行われ和気あいあいとした中、相互理解が深められた一日でした。



酪農フレンズパーティー開催告知

指導課

本組合では、酪農後継者育成事業の一環として、酪農家の独身男性と一般の独身女性との交流を即し、新たな出会いの場と交流の輪を広げていただくため、第13回酪農フレンズパーティーを開催します。

開催日：12月17日(日) 時間：11時00分より

開催場所：仙台 勝山館



第46回全国酪農青年女性酪農発表大会開催される

指導課

7月13・14日、北海道札幌市の『札幌ビューホテル大通公園』におきまして、全国酪農青年女性会議主催による第46回全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されました。

大会は全国6地域から選出されました「経営発表の部」6名、「意見・体験発表の部」6名の計12名が発表を行いました。本組合青年部・婦人部からは10名が参加し、また東北代表として、仙南支部の高橋駿太さんが「自分の目標に向かって牛と共に歩む」と題して意見・体験発表を行いました。参加者は大変有意義な交流の場であったと思われま



審査の結果、経営発表の部の最優秀賞には、「開拓精神を受け継ぎ、酪農共同体として次世代へ継承～地域営農の持続性を求めて～」と題して発表された東北代表の福島県西郷村の雪割牧場(有)取締役 田中 進さんが受賞されました。審査員特別賞として、「未来につなげたい酪農経営を目指して～”酪農家だから”を言い訳にしない～」と題して発表した九州代表の宮崎県都城市の長友 佳奈美さんが受賞されました。また、「意見・体験発表の部」の最優秀賞には、「持参金回収からの酪農夢歩きへ」と題して発表された、北海道紋別市の田村 純子さんが受賞されました。

仙台市ガス局共催料理教室開催される

宮城県牛乳普及協会



8月29日(火)仙台市ガス局ガスサロンのキッチンパレットにて「ミルク和食」をテーマに料理教室を開催いたしました。講師には、森永乳業株式会社の遠藤 敦子先生を迎えました。メニューは、ギリシャヨーグルトを使用したソースをかけていただく「鶏むね肉の香ばし焼き～バルテノソース～」、スキムミルクを使用した「鮭しんじょのミルク茶わん蒸し」、きなこクリームチーズがよく合う「きなこの和風チーズケーキ」を作りました。

試食をしている際には、牛乳のちょっとした豆知識やカルシウム、骨に関するお話をいただき、参加者の方も聞き入っていました。

参加した方からは、「牛乳・乳製品を使用し、健康にも良く、美味しい」、「カルシウムと骨の話聞いて、これからはもっと牛乳乳製品を摂ろうと思った」、「牛乳・乳製品を使った和食料理をもっと知りたい」などのお声をいただき大好評でした。

カルシウムは体内で作ることができないため、食事などから摂取するしかありません。また、摂取したカルシウムはすべて体内に留めておくことができないため、毎日摂取することが大切です。

骨粗しょう症予防のためにも、日々の食生活に積極的に牛乳乳製品を取り入れて下さい。

今回は、全酪連『強化』哺育』について紹介します。哺育期からの早期骨格形成、初産からの乳量アップなど、様々なメリットがありますので、ユーザーインタビューと合わせ紹介します。

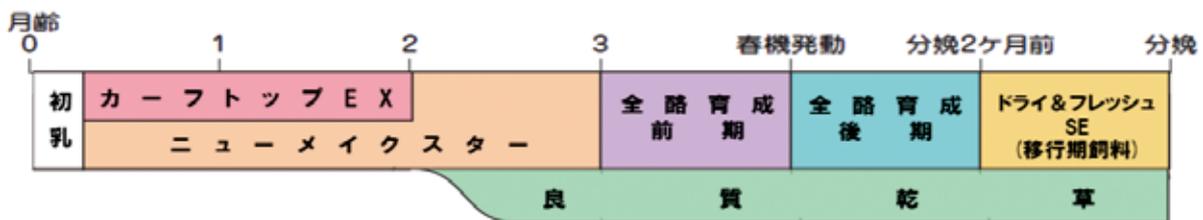
『“強化”哺育』とは？

“強化”哺育・育成体系は、子牛が本来持っている発育能力をフルに発揮させる飼料給与体系です。従来とは異なる栄養成分バランスの代用乳を増給し、哺育期の栄養状態を“強化”することにより、

- ① 過肥に陥らせることなく、哺育期からフレームサイズの発育・発達を加速させる
- ② 初産分娩時期を早期化させる
- ③ 正常な免疫機能を維持させる

を実現する飼養管理です。哺育期から栄養状態を強化し、発育を促すことによって、分娩時期の早期化(育成コストの低減)や牛本来の能力(生産性)を引き出すことを目指します。

哺育・育成期では各ステージで栄養要求量が異なりますので“強化”哺育・育成体系では、下図のように各ステージに沿った飼料を推奨していますが、今回は哺乳期に着目し、カーフトップ EX をご紹介します。



“強化”哺育体系では、従来の代用乳の給与量に比べ、倍以上の代用乳を給与します。

脂肪は、幼若な哺育期の子牛のエネルギー源としては不可欠ですが、蛋白質や炭水化物と比較し、固形飼料(スターター)の摂取量を抑制する傾向があります。

従って、“強化”哺育体系で用いる代用乳は、体脂肪の過剰な蓄積を防止しつつ、骨組織や筋肉の発育を促進させるため、従来の標準哺育体系用の代用乳に比べ、高蛋白質・低脂肪の代用乳となります。

“強化”哺育体系を実践するための代用乳

カーフトップEX

保証成分	粗タンパク質%	粗脂肪%
カーフトップEX	28.0	15.0



※ F1・和牛子牛向けには「カーフトップ EX ブラック」があります。

●カーフトップ EX は、“強化”哺育・育成体系に用いる代用乳として研究開発された代用乳です。

従来のカーフトップシリーズ製品に比べ、粗蛋白濃度を高めに設計し、合わせて固形飼料の採食量を促すために粗脂肪濃度を低めに設計しています。

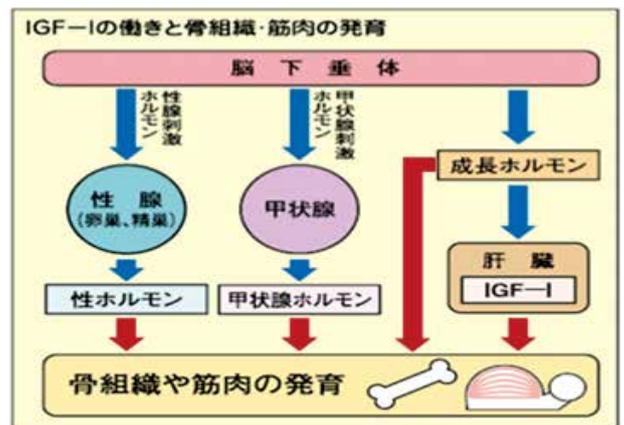
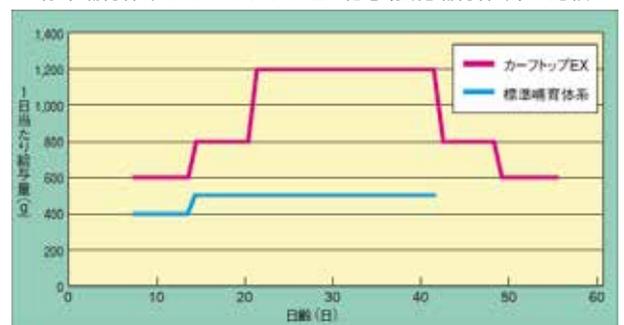
高蛋白質濃度

骨格の発育・発達を促す
IGF-1 (骨や筋肉の発達させるホルモン)の合成・活性化を促す

低脂肪濃度

過肥を防ぎ、且つ、スターター摂取量を落とさない
⇒スターターの十分な採食はスムーズな離乳に必要な不可欠です

標準哺育体系とカーフトップ EX 給与(強化哺育体系)の比較





全酪連『“強化”哺育』を実施している2戸の組合員の方に、利用状況・感想をお聞きしましたので紹介します。

(有)小山牧場

小山 寛記さんに聞きました。



利用の理由は？

「カーフトップ EX」供給開始後、すぐに利用しました(約12年前)。しっかりミルクを給与していても、スターターの採食が良い点が気に入り、利用しました。

給与の状況は？

ホルスタイン子牛は、生後すぐに初乳を2～4リットル給与し、その後も搾りたての移行乳を朝夕に3～5リットル飲ませます。生後3日目からスターター(ニューメイクスター)・水の給与を開始し、生後7日目より移行乳から「カーフトップ EX」に切替し、朝夕3.5リットル(粉ミルク700g)×2回給与します。生後1.5カ月ほどで「カーフトップ EX」を減らし、スターターを2kg摂取できるようになったら、生後2カ月ほどで離乳します。離乳後から乾草(チモシー)を給与し始めます。

F1・ET和牛子牛にも「カーフトップ EX」を同様に給与しております。

利用の感想は？

短期間で発育の違いを実感でき、体高・骨格も大きくなっております。下痢することもほとんどなく、哺育期間に子牛がダメになることがなくなりました。スターターの摂取も良いので、離乳後も安定した発育をしております。



(有)蔵王めぐり

小林 郁恵さんに聞きました。



利用の理由は？

酪農ガールズで『“強化”哺育』の勉強会をしたこと、また“強化”哺育したET和牛スモールを肥育農家が高く評価していることを知り、4年ほど前より使用を始めました。

給与の状況は？

ホルスタイン子牛は、生後すぐに初乳を飲ませたいため、初乳粉末(グッドスタートプレミアム)をしっかり飲ませます。初乳粉末2回給与後は、「カーフトップ EX」に切替し、朝夕1.5リットル(粉ミルク300g)×2回給与します。同時にスターター(ニューメイクスター)・水の同時に給与開始します。約3～4週目には「カーフトップ EX」朝夕3リットル(粉ミルク600g)×2回給与に増量します。

離乳後に若齢預託するため、群飼で負けない体を作るため、少し長めに2.5～3カ月間哺乳します。離乳後から乾草(チモシー)を給与し始めます。

ET和牛子牛には「カーフトップ EX ブラック」を同様に給与しております。

利用の感想は？

短期間で体が大きくなりしかもムキムキした筋肉質の体になります。預託先からも預託後の群飼でも発育が良く評価頂いており、23カ月分娩でしっかりした骨格でムキムキした牛で帰ってきます。

初産から年間乳量10,000kg以上の乳牛になっており、牧場の乳生産量も増えてきております。

ET和牛子牛も受精卵スモール市場でも高く評価して頂きました。



①配合飼料、哺育代用乳

平成29年度の配合飼料改定幅は第1四半期トン600円の値上げ、第2四半期は900円の値下げ、哺育代用乳は第1四半期トン35,000円の値上げ、第2四半期は27,000円の値下げとなりました。

また、第1四半期に対しまして、トン1,700円の通常価格差補填金が発動されました。

②北米コンテナ船情勢

各船会社はこれから年末に向け需要期を迎えるにあたり、足並みは揃っていませんが10月よりアジア向けの貨物に対し値上げを通知しており、また日本からの貨物についても値上げが実施される予定で収支回復の動きが見られます。

③ビートパルプ

日本向けの主産地であるミネソタ、ノースダコタ州では適度な降雨もあり、良好な作柄となり収量も昨年並みとなっております。16年産は予想より約1割の減産になった為、需給が逼迫し始めております。

④アルファルファ

(A)ワシントン産

コロンビアベースンでは3番刈りが終盤を迎えております。3番刈りは天候に恵まれ比較的良品が収穫されている模様です。グレードを問わず国内での引き合いが強く価格は強含みで推移しております。

(B)オレゴン産

クラマスFでは1番刈りは降雨被害が発生しましたが、2番刈りは降雨被害が少なく良品が多く発生した模様です。クリスマスバレーでは2番刈りが終了、3番刈りが始まっており良品が発生しております。

価格については、国内外からの引き合いが強く高値で推移しております。

⑤チモシー

(A)US産

ワシントン州では2番刈りの収穫が行われております。1番刈り同様に良品の発生が多いようです。しかし全体的な品不足に加え、韓国からの引き合いが強く価格は上昇しています。

(B)カナダ産

南部レスブリッジ地区では1番刈りが終了、中部クレモナ地区でも7月下旬より収穫が開始されております。天候に恵まれ作柄は良品が発生しております。16年産の在庫が無く引き合いが強くUS産同様に価格は上昇しております。

⑥豪州産オーツヘイ

西豪州では、7月末まで早魃傾向にあり単収減が懸念されておりましたが、8月より十分な降雨があり生育は回復傾向にあります。このため16年産の在庫を抱えていた農家から急遽売り込まれ、中級品以下の品物の価格が軟化し始めている模様です。

以上このような状況の中、飼料等の安定供給に努めてまいりますので、ご利用賜りますようよろしくお祈りいたします。

菅原牧場（すがわらぼくじょう）

●牧場の概要(平成29年8月1日現在)

- *所在地：遠田郡涌谷町
- *飼養頭数：37頭(搾乳頭数30頭)
- *年間出荷乳量：約326t
- *補正乳量：約9,400kg/頭

●牧場のこだわりと目指すもの

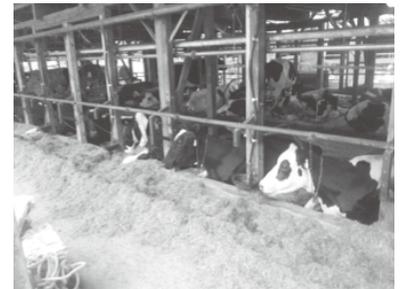
町内の酪農家や和牛繁殖農家と共同で組合を作り、自給粗飼料生産に力をいれています。粗飼料生産は共同作業で、2毛作体系でおこなっており、自己の作付面積は飼料用トウモロコシが約7ha、稲WCS約1ha。その裏作としてイタリアンライグラス約5ha、ライ麦約3haとなっており、現在は、ルーサン以外の粗飼料は自給しています。さらに、同組合で所有している細断型ロールペラー2台の稼働率向上のため、県内各地の稲WCSや飼料用トウモロコシなどの収穫作業も行い、低コストで安定的な酪農経営を目指しています。



また、昨年から全頭に対し受精卵移植(ET)を実施しており、その割合は、黒毛和種9割、性判別ホルスタイン1割となっています。今後もETの活用を続け、検定成績だけでなく、将来的にはゲノム解析とOPU-IVF(生体内卵子採取-体外受精)技術を活用した牛群改良速度の向上と優良な雌牛生産の効率化を目指します。

●牛群検定の活用方法

検定情報では、まず体細胞を確認しています。搾乳牛1頭ごとの体細胞数が把握できるので、体細胞数が高い牛の観察や治療を行い、改善出来ない場合は、とう汰するなどの判断に活用しています。



飼料は、飼料用トウモロコシやイタリアンライグラスなど自給粗飼料を中心にミキサーフィーダーを活用して給与しています。

給与内容に変動がでないよう気をつけていますが、検定情報では牛群全体や産次毎の産乳成績が把握できるので、飼料給与の管理に役立っています。

●牧場から一言

ETでのホルスタインの生産率はまだまだ低いですが、外部導入ではなく全頭自家育成ができるよう研鑽していきたいと考えています。ゲノム解析だけでなく、自分の飼っている牛の能力を把握が出来る牛群検定の成績は欠かせないデータであり、今後とも牛群検定を続け牛群全体の状態把握や生乳生産量の向上に努めていきたいと考えています。



(文責:美里農業改良普及センター 清水)

後継者の菅原 啓緒さん

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- ・宮城県ホルスタイン協会 ((一社)宮城県畜産協会内) TEL: 022-298-9750
- ・県南乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会仙南事業所内) TEL: 0224-52-2523
- ・県北乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会中央事業所内) TEL: 0229-34-3304

平成29年度 生乳生産実績

販売課

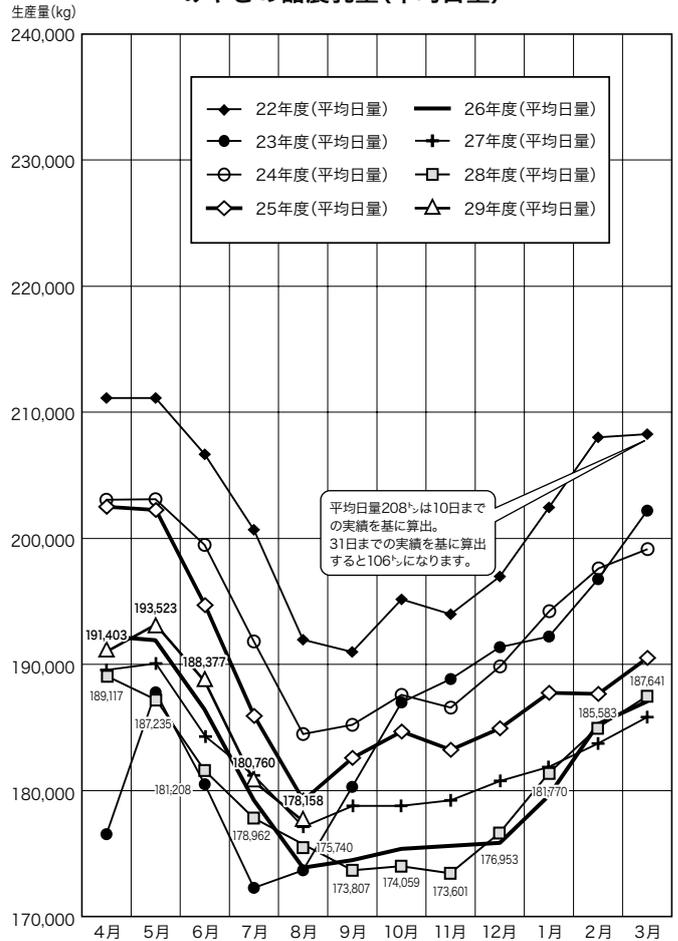
平成29年度生乳生産実績(4月～8月 標準進捗率41.92%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	2,753,742.6	2,658,382.2	103.59	6,416,800.0	42.91
七ヶ宿支部	6	1,022,333.6	936,358.0	109.18	2,289,964.0	44.64
蔵王支部	26	3,398,770.0	3,456,522.3	98.33	8,242,155.0	41.24
柴田支部	18	1,778,465.0	1,782,709.0	99.76	4,235,113.0	41.99
角田支部	7	942,207.0	834,619.0	112.89	2,145,845.0	43.91
丸森支部	13	1,381,182.0	1,345,850.0	102.63	3,153,507.0	43.80
仙台支部	12	1,599,711.8	1,630,737.7	98.10	3,879,344.0	41.24
名取支部	6	371,021.0	432,892.0	85.71	961,322.0	38.59
黒川支部	8	565,971.0	687,770.0	82.29	1,400,428.0	40.41
大崎支部	21	1,512,152.0	1,496,286.0	101.06	3,626,724.0	41.69
遠田支部	17	2,592,568.0	2,463,259.0	105.25	5,946,902.0	43.60
加美支部	20	1,232,680.0	1,258,459.0	97.95	2,810,605.0	43.86
鳴子支部	13	905,520.0	1,007,712.0	89.86	2,309,079.0	39.22
一迫支部	12	1,301,654.0	1,269,099.0	102.57	2,966,924.0	43.87
築館支部	15	939,597.0	911,274.0	103.11	2,096,661.0	44.81
瀬峰支部	8	535,034.0	558,607.0	95.78	1,281,173.0	41.76
迫支部	13	1,972,079.0	1,543,631.0	127.76	3,722,005.0	52.98
中田支部	9	654,887.0	584,852.0	111.97	1,432,193.0	45.73
東和支部	7	533,782.0	533,059.0	100.14	1,237,517.0	43.81
志津川支部	9	586,879.0	512,322.0	114.55	1,260,516.0	46.56
本吉支部	11	456,749.0	460,175.0	99.26	1,070,549.0	42.66
石巻支部	6	462,087.0	499,158.0	92.57	1,097,936.0	42.09
豊里支部	12	1,019,980.0	1,046,077.0	97.51	2,359,738.0	43.22
みやぎの酪農	291	28,519,052.0	27,909,810.2	102.18	65,943,000.0	43.25

※出荷戸数については、直近の数字です。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



理事会通信

総務課

【第4回理事会】

開催日 平成29年7月28日

- 付議事項 第1号議案 専門委員会委員等の選任について
- 第2号議案 個人情報保護に関する規程類の一部変更について

【第5回理事会】

開催日 平成29年8月30日

- 付議事項 第1号議案 役員研修の実施について
- 第2号議案 固定資産の取得について
- 第3号議案 業務執行体制について
- 第4号議案 専門委員会委員等の補欠選任について

7月3日	名取支部総会	巨	理	町
	青年部仙南支部総会	大	河	所
7月4日	酪農振興関係事業打ち合せ	本	原	市
	東北生販役員候補者推薦会議	仙		市
	涌谷町飼料増産組合総会	涌	台	町
7月6日	青年部役員会	本	谷	所
	婦人部役員会	本		所
	畜産経営技術高度化推進事業指導研究会総合委員会	仙	台	市
	畜産特別資金推進指導事業推進協議会	仙	台	市
7月7日	婦人部本吉支部交流会	岩	手	市
	全酪連仙台支所管内ブロック会議	仙	台	市
7月8日	栗原市畜産共進会	栗	原	市
7月10日	宮城県酪農団体合理化検討会(CS視察) ~11日	登	米	市
7月11日	東電損害賠償宮城県協議会第55回総会	仙	台	市
7月12日	東北生販理事会	仙	台	市
	婦人部石巻支部総会	登	米	市
7月13日	全国酪農経営発表大会 ~14日	北	海	道
7月14日	角田市酪連総会	角	田	市
	宮城県酪農協会幹事会	本		所
7月18日	加美支部パークゴルフ交流会	加	美	町
7月19日	酪農互助制度強化検討会	東	京	都
	宮城県ホルスタイン協会総会	仙	台	市
	青年部登米支部総会	登	米	市
7月20日	青年部仙台支部総会	仙	台	市
	仙台支部総会	仙	台	市
	酪政連東北ブロック協議会意見交換会	仙	台	市
	牛乳協会上期東北ブロック会議 ~21日	岩	手	市
7月21日	宮城県牛乳普及協会総会	仙	台	市
7月24日	宮城県農業信用基金協会総会	仙	台	市
	東北生販総会・理事会・監事会	仙	台	市
	青年部石巻支部総会	涌	谷	町
	DMS相談会	本		所
	(一社)宮城県畜産協会理事会	仙	台	市
7月25日	婦人部仙台支部総会	松	島	町
	DMS相談会	仙	南	支
	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会	東	京	都
7月26日	県北乳用牛群改良組合総会	美	里	町
	(農)丸森町酪農振興組合総会	丸	森	町
	宮城県酪農協会監査会	本		所
7月27日	石巻支部研修会	石	巻	市
	全酪連総会	東	京	都
	乳業再編等東北ブロック会議	仙	台	市
7月28日	第4回理事会	本		所
	県南乳用牛群改良組合総会	角	田	市
	(株)みやぎの運送取締役会	本		所
	日EU・EPA交渉大枠合意に関する地方説明会	埼	玉	県
	日本酪農政治連盟宮城県支部連合会臨時総会	本		所
7月31日	宮城県酪農ヘルパー利用組合総会	本		所
	婦人部大崎支部総会	大	崎	市
	牛乳職人倶楽部総会・認定表彰式	大	和	町
	東北地区ホルスタイン登録委員研修会 ~8月1日	青	森	県
	柴田支部懇親会 ~8月1日	村	田	町
8月1日	青年部仙南支部交流会	蔵	王	町
	黒川支部研修会	大	和	町
	青年部大崎支部総会	大	崎	市
8月2日	青年部仙台支部溪流釣り大会	川	崎	市
	市道駒木・赤沼線道路改良事業説明会	登	米	市
8月4日	築館支部支部研修会	栗	原	市
	全酪連北海道・都府県畜産主任者会議 ~5日	北	海	道
8月6日	(株)シュガーファーム畜舎新築工事完成祝賀会	登	米	市

8月7日	宮城県酪農協会役員会・総会・研修会	仙	台	市
8月8日	迫・中田・東和3支部合同懇親会	気	沼	市
8月9日	青年部総会 婦人部総会	松	島	町
	全国和牛能力共進会壮行会	松	島	町
8月10日	(株)みやぎの運送取締役会	仙	台	市
8月18日	乳牛ベビーショウ	本	里	町
8月21日	生乳取扱者研修事業認定委員会 加美支部移動研修会 畜産クラスター(機械導入)要望調査ヒアリング	仙	台	市
	遠田支部研修会	山	形	県
8月22日	旅行会役員会	石	巻	市
8月23日	婦人部栗原支部パークゴルフ大会	本	原	市
8月24日	みやぎの酪農協畜産クラスター協議会総会・分科会 農林年金事務担当者研修会 全酪連会員指導・購買職員初級研修 ~ 26日	仙	台	市
8月25日	体外受精卵(IVF)の取扱研修会 東北酪農青年婦人会議役員会 蔵王36畜産クラスター協議会総会	福	島	県
	平成29年度上半期監事研修 青年部視察研修会	栗	原	市
8月28日	日EU・EPA大枠合意に関する東北ブロック説明会	仙	台	市
8月29日	宮城県牛乳普及協会料理教室 (一社)全畜配合価格安定基金臨時総会	蔵	王	町
8月30日	蔵王支部研修会 第5回理事会 青年部仙台支部懇親会	名	取	市
8月31日	牧草地簡易更新事業打合せ会	蔵	王	町
		本	台	市

人事のお知らせ

区分	氏名	新職	旧職	発令日
正職員	菊池 仙一	総務課長	総務課総務係長	平成29年10月1日
正職員	日野 直樹	総務課総務係長	指導課指導係長	平成29年10月1日
正職員	菅原 光義	指導課指導係長	販売課販売係長	平成29年10月1日
正職員	村山 高弘	指導課指導係長	指導課指導係	平成29年10月1日
正職員	山内 祐輔	指導課指導係	仙北集乳所販売係	平成29年10月1日
正職員	加藤 幸	販売課販売係	哺育育成センター生産係	平成29年10月1日
正職員	日野 裕治	仙南支所長	総務課長	平成29年10月1日

◎平成29年9月30日付け

仙南支所長 須藤 茂さんが定年退職されました。長い間ご苦労さまでした。

[編集後記]

みやぎのだよりが本紙で100号を迎えることができました。平成13年5月発行の1号から16年が経ちました。今後も本紙を通じて、みなさまに多くの情報をお伝え出来ればと思います。今後もみやぎのだよりをよろしくお願ひします。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)